

アンケート全般を通しての所見

第2回学校部活動地域移行推進会議より

地域移行全般	<p>地域クラブの試行に参加している生徒の多く（82.4％）は、地域クラブに参加して満足している状況である。まだ改善すべき課題はあるが、おおむね順調に実施されていると思われる。保護者からは、移動方法や参加費の負担、指導者との連携などの懸案事項はあるものの、今後も推進方針に則り実施していくことが大事であると考え。少数ではあるが地域クラブに対する否定的なご意見はあるが、令和8年度から休日の部活動が学校で実施できなくなることを鑑みると、その受け皿としての地域クラブは重要な役割を果たすこととなる。そのことを理解いただき、協力していただけるよう、市・村教委からの丁寧な説明が必要である。</p>
保護者	<p>小学校、中学校とも地域クラブ活動については、おおむね肯定的な意見が多くあった。しかし、活動への参加や選択に柔軟性を求める意見が多くあった。活動種目の幅広い選択肢や個に応じた指導体制づくりへの要望も多くあった。すでに活動しているクラブチームや社会体育活動とは違った、子どもたちが他校生徒との交流や様々な指導者から指導を受けられることを良しとする意見もあった。地域クラブがどのような立ち位置になるのかの方向性が必要となってくる。</p>
指導者	<p>指導者は、これまで献身的に指導に当たっている。すべての生徒から「いい指導者」として受け入れられることは難しい。そこには、お互いの相性というものがある世界にもあるからである。しかし、参加生徒に対し平等に接し、個への支援も配慮しながら常に学ぶ姿勢を怠ってはいけない。また、指導の場面を多く経験することで、指導力の向上を図ることが大事であると考え。それを踏まえた指導者の育成が必要である。</p> <p>今後指導者は、生徒・保護者からの参加費で謝金を受けることとなることから、それに見合った専門的指導を心がけなければならない。多くの生徒・保護者が地域クラブに期待するところは、「専門的な指導が受けられる」と回答していることから、そこを裏切ることはいえないと考える。</p>
学校・顧問	<p>生徒・保護者からは、せめて試行期間中は顧問の先生からも地域クラブに出てほしいという意見がある。教員の働き方改革もこの地域移行の大きな柱となっているものの顧問の約半数が試行に携わっている状況がある。地域クラブに参加している先生は熱心な先生で、参加していない先生はそうでないという生徒・保護者からの評判とならないよう、学校（管理職）による雰囲気づくりをお願いしたい。また、顧問同士でもそういった風潮にならないことも大事なことだと考える。これからは、学校部活動は継続する。学校によっては、すでに存続が難しい部活動もある。各学校がどのような決定をしていくのかの情報共有が校長会等でなされるとありがたい。</p>
活動時間	<p>生徒・保護者の記述から、地域クラブの活動時間や練習量について、一方では「時間が短い、練習量が少ない」という声、一方では「時間が長い、土日どちらかは少なくとも休みにしガイドライン通りに実施してほしい」という声の両方がある。目指す目標を何に設定するかで意見が分かれるところではある。今後は競技志向者と個々の技術習得を楽しみながら目指す者へのそれぞれの対応も検討が必要である。現在は、学校部活動の延長上にあり、ガイドラインに沿った活動を指導者にはお願いしているところである。大会参加や練習試合は、計画的に重要度を考慮しつつ生徒の健康管理に努めてほしい。</p>
連携	<p>学校（顧問）と指導者、生徒・保護者間の連携体制は今後整備が必須である。生徒・保護者にとって見通しのある計画と急な変更への対応が、生徒や保護者の安心につながる。また、指導方針・指導方法は、顧問と指導者の個々の連携にとどまらず、実施競技種目全体で取り組むべき問題と思われる。そのためにもスポーツ協会が中となって、連携会議等を設置し競技ごとの指導に関する方針等を、共有していく体制が望まれる。</p>